

一 般 質 問 要 綱

平成 31 年第 2 回 3 月 定 例 会

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	18	遠 藤 金 美	<p>1 県教育委員会の県立高校改革について</p> <p>2 国道 459 号の道路行政について</p> <p>3 水源の里の活性化について</p>	<p>(1) 県教育委員会は、県立高校の前期実施計画を発表した。本市では再編対象として 3 校が挙げられた。そのうちの耶麻農業高校は会津農林高校との統合が示されたが、今後、本市としてどのような対応をするのか伺う。</p> <p>(1) 上三宮町吉川～山都町相川区間の沿道の支障木・危険木の早期の伐採について伺う。 (2) 上三宮町吉川～山都町相川区間の積雪状況や除雪について、住民からの委託業者への連絡体制について伺う。 (3) 現在、大規模な掘割工事が施工されている山都町藤沢工区の新しい道路の開通見通し時期を伺う。 (4) インターネット上の酷道のイメージ解消のため、喜多方区間の改良整備の進捗状況を掲載すべきと思うが、その考えを伺う。</p> <p>(1) 全国水源の里シンポジウムについて ア 第 12 回全国水源の里シンポジウム in 舞鶴に、遠藤市長は初めて参加して、会員、参加者との相互交流を通じて、活動状況など、どのような認識を高められたか伺う。 イ 次回のシンポジウムから、野生鳥獣害対策の文言を再び盛り込み、被害防止対策の全国的な運動を展開すべきと思うが、その考えを伺う。 (2) 野生鳥獣被害防止対策について 深刻な野生鳥獣の被害防止対策の一つとして、目撃・捕獲の住民からの迅速な連絡・通報方法について伺う。 (3) 市長の地区懇談会の開催について 今、行われている市長の「わくわく市政ふれあいトーク」に加え、多くの市民の声を聞く機会として、旧町村単位の地区懇談会の考えを伺う。 (4) 今後の本市の取り組みについて 人口減少・少子高齢化に拍車がかかり、農林業の衰退が懸念されている本市の水源の里について、今後どのような振興を図るのか伺う。</p>
2	10	後 藤 誠 司	<p>1 総合支所機能の充実について</p>	<p>「たかさと町民新春の集い」の挨拶で、市長は総合支所機能の充実についてのお話をされました。また、先日の全員協議会において、組織機構の見直しの説明があったところです。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>そこで総合支所機能の充実について、以下の点を伺います。</p> <p>(1) 組織機構の見直しについて</p> <p>ア 新設される地域振興課が総合支所と連携・協力を強化するとのことですが、具体策を伺います。</p> <p>イ 総合支所の産業課と建設課を廃止して産業建設課に再編することは組織の縮小につながらないかどうか伺います。</p> <p>(2) 職員配置について</p> <p>ア 平成 30 年度と市町村合併時の平成 18 年の全職員数、総合支所職員数及びその割合を伺います。</p> <p>イ 総合支所ごとの各課の地元出身者数を伺います。</p> <p>(3) 総合支所長の裁量でできる決裁の額について伺います。また、増額についてはいかがお考えか伺います。</p> <p>(4) 地域振興策について伺います。</p>
			2 市民の健康問題について	<p>(1) 各種健診受診率の中で、胃がん検診と特定健診の受診率が県内 13 市の中でも低いですが、受診率向上に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>(2) 健診体系が見直されて 3 年目になりますが、実施状況について伺います。</p> <p>ア 胃がん検診が隔年検診となったが、早期がん発見に支障がないか伺います。また、平成 27 年度から平成 29 年度までの胃がん検診の中で内視鏡検診の件数及び割合を伺います。</p> <p>イ 人間ドックが 5 歳刻み節目年齢受診になり、受診者数も減っておりますが、これに対する見解を伺います。</p> <p>(3) 平成 27 年度から平成 29 年度までの特定保健指導実施率について伺います。</p> <p>(4) 県は昨年 12 月、65 歳を過ぎて要介護度 2 以上にならず、健康に過ごせる期間を「お達者度」として、2013 年と 2016 年の比較を発表しました。本市は男女ともマイナスとなったが、その見解について伺います。</p>
3	8	遠藤吉正	1 観光施策について	<p>(1) 平成 29 年及び平成 30 年の本市における訪日外国人宿泊者数の実績を伺う。</p> <p>(2) インバウンド対策として本市が取り組んでいる農泊を積極的に PR し、訪日外国人宿泊の誘客を図るべきと考えるが見解を伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(3) 観光庁が事業として取り組む「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」を活用すべきと考えるが見解を伺う。
			2 友好都市との交流について	(1) 震災前には東大和市から本市へ農業体験を伴う教育旅行が実施されていたが、風評被害の影響により現在は実施されていない。今後、再開に向けた誘致活動を行うべきと考えるが見解を伺う。 (2) 東大和市の学校給食に本市産米を使用するための働きかけを行うべきと考えるが見解を伺う。
			3 まちづくり施策について	(1) 本市が目指すまちづくりビジョンを明確にするために歴史的風致維持向上計画（歴史まちづくり計画）の策定について検討すべきと考えるが見解を伺う。
4	9	渡部一樹	1 地域医療体制について	(1) 遠藤市政における地域医療体制の充実に係る基本方針について伺いたい。 (2) 休日当番医・救急受入体制における課題について伺いたい。また、小児科の体制充実を求めるが考えを伺いたい。 (3) 地域・家庭医療センター「ほっと☆きらり」の今後の運営方針並びに体制充実に向けた考え方について伺いたい。
			2 県立高校の統廃合について	(1) 県教育委員会のこれまでの取り組みに対して市はどのような要望等を行ってきたのか伺いたい。 (2) 今後は県教育委員会に対して積極的な要望活動が求められると考えるが、市の見解を伺いたい。
5	12	小林時夫	1 防火対策について	(1) 本市の火災状況について (2) 今後の防火対策について ア 本市の住宅用火災警報器の設置状況について イ 今後の住宅用火災警報器の設置について
			2 通学路のブロック塀対策について	(1) 通学路のブロック塀の現状調査について (2) 今後の通学路のブロック塀対策について ア 危険なブロック塀の指導について イ 危険なブロック塀に対する具体策について
6	25	山口和男	1 営農再開支援事業について	平成 24 年度から原発事故により土壌に蓄積した放射性物質の農作物への移行低減を図る取り組みとして、効果が見込まれるカリ質肥料施用の支援を行ってきた結果、本市においては平成 29 年産米の全量全袋検査で放射性物質が

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>未検出であったため、平成 30 年度に事業効果の検証を行い、測定した玄米で未検出となり、また、事業効果の検証年度における平成 30 年産米の全量全袋検査においても放射性物質が未検出なので、カリ質肥料施用の廃止、いわゆる「カリ卒業」になりました。</p> <p>(1) 東京電力に対するカリ散布の損害賠償について</p> <p>平成 24 年から平成 30 年までの、J A 会津よつば関係、共栄会、会津米研究会、その他団体ごとに対象人員と金額をお示してください。</p> <p>また、この中で J A 会津よつばは平成 24 年は各農家へ支払い済み、共栄会は平成 26 年まで各農家へ支払い済み、会津米研究会は平成 27 年まで各農家へ支払い済み、なぜこのような対応の違いがあるのかお伺いします。</p>
			2 水道法改正に伴う民営化についての福島民友新聞社のアンケートについて	(1) この中で、導入する、導入しない、検討中、無回答と 59 市町村の対応が分かれたようですが、本市は無回答であるとの記事ですが、これは事実ですかお伺いします。
7	24	佐原正秀	1 児童クラブについて	<p>児童クラブは今、施設数も入所児童数も増え、そして、共働き・ひとり親家庭等においては必要不可欠な施設となっております。</p> <p>国も児童クラブの必要性を認め、1998 年に法制化され、国の少子化対策、仕事と子育ての両立支援策の重要な柱に位置づけられております。</p> <p>児童クラブがどのように運営され、子どもたちがどのように過ごしているのか、指導員の役割や仕事はどのようになっているのか、児童クラブに対する理解は十分とはいえない現状であると思われま。</p> <p>そこで本市の実態についてお尋ねします。</p> <p>(1) 児童クラブ施設の実態について (2) 連絡協議会運営の現状について (3) 児童クラブ職員の配置について (4) 人材確保とその対応について (5) 児童クラブの安全対策について (6) 児童クラブと事故について</p>
			2 学校の ICT 整備について	ICT メディアと授業・学習環境については既存の教育目標を実現するための学習指導における ICT 活用と、ICT に関連する能力を新教育目標として捉える情報教育という 2 つの視点から捉えられてきた経過があり、近年は

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>人工知能を備え、話しかけたら反応し、わからないところがあれば説明してくれるというようにタブレット 1 台で全教科書を学べるようにするなど、A I 化、デジタル化を望む傾向が多いと言われております。</p> <p>未来の教科書への期待としては、小学校からは動画や辞書などの新しい機能の追加を、中学校からは人工知能の搭載やデジタル化を望む意見が多くありました。</p> <p>そこで本市の対策についてお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) I C T 整備の実態について (2) 子どもの教科書への思い・期待について (3) 学習指導における I C T 活用について (4) 学校教育の情報化について (5) 多様な授業形態について (6) 見守りとフィルタリングについて
			3 健康長寿の取り組みについて	<p>福島県は、健康づくり県民運動に向けて元気で活力のある「日本一のふくしまづくり」を旗揚げしました。</p> <p>内堀知事は、健康づくりを県民運動に高めて日本一の健康県を実現するには県、各市町村、教育機関などの連携強化が必要と訴えており、推進組織を今年度内に設け、医療、福祉、食生活、運動などの幅広い分野の団体や専門家と連携して県民の健康づくりの機運を一層高める方針を示しました。</p> <p>そこで本市における健康長寿に向けた取り組みについてお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 食を通じた健康づくりについて (2) 発酵食品のすすめについて (3) 生涯現役で仕事を続けることについて (4) ボランティア活動のすすめについて (5) 介護予防の取り組みについて (6) 食の見える化への挑戦について (7) 意識改革と指標改善について (8) 新しいコミュニティづくりについて
8	16	齋藤 仁一	1 2019 年度予算編成について	<ol style="list-style-type: none"> (1) 新年度当初予算が前年度遠藤市長の肉付け予算との比較で 1.7% 増の 251 億 5,800 万円となっている。 <p>特に「財政調整基金、減債基金からの繰入金を計上した」と当初予算編成の要点に記されているが、基金の繰り入れに至った具体的な事業と経緯は何か伺いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> (2) 中期財政計画から見ると当初の計画が変更になっているが、その理由は何か。また、

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>それはどのような判断がなされたのか伺いたい。</p> <p>(3) 新年度の予算編成は後年度にどのような影響を及ぼすことになるのか。また、今後の財政運営はどのような考えで運営されることになるのか伺いたい。</p>
			2 住民自治と地域福祉計画について	<p>(1) 2019 年度の新規事業として住民自治推進事業（予算 2,000 万円）に至った経緯と意図は何か。また、この事業を通してどのような地域を構築しようとしているのか伺いたい。</p> <p>(2) 2019 年度に地域福祉計画策定（予算 621 万円）が計画されているが、2018 年度の基礎調査の結果と、この計画の意図するところ及び将来像は何か伺いたい。</p> <p>(3) 住民自治の具体的な形として、合併時の周辺町村に設置された合併協議会のような組織を立ち上げ、地域の様々な課題・問題を協議し、解決できるような場を設置していくことが「協働のまちづくり」に資することになると考えるが伺いたい。</p>
			3 学校給食について	<p>(1) 喜多方市教育振興基本計画における「学校給食」及び「食育」の位置づけはどのようになっているのか伺いたい。</p> <p>(2) 学校給食については、合併時に「熱塩加納方式による学校給食」を市内全ての児童生徒に提供することを目標に進められてきたが、現在の状況はどのようになっているのか。また、その要因は何か。今後の方向性についても伺いたい。</p> <p>(3) 学校給食食材の地元農産物の割合を高めていくことが必要であるが、市が把握している各調理場の市内産農産物の割合（3年間）はいくらか。また、その算出方法についても伺いたい。</p> <p>(4) 地元農産物の割合を高めるためには栄養士の方々への理解が必要であるが、どのような指導をされているのか。また、調理員の確保が重要であるが、どのような基準で各調理場に配置されているのか伺いたい。</p> <p>(5) 学校給食における保護者負担軽減策として公費を半額負担しているが、給食材料及び調味料などの食材の質の向上、そして、その学校給食を提供する体制を強化するための人員の確保に公費を向けるべきと考えるが伺いたい。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
9	1	田中和加子	1 市長の政治姿勢について	(1) 憲法第 9 条改憲について (2) 消費税 10%への増税について
			2 非核平和都市宣言の設置と被爆写真パネルの掲示について	(1) 非核平和都市宣言の設置について (2) 被爆写真パネルの掲示について
			3 国保税の均等割の 18 歳以下の免除について	(1) 国保税の均等割の 18 歳以下の免除について
			4 孤独死をなくす取り組みについて	(1) 孤独死をなくす取り組みについて
			5 磁気ループの導入について	(1) 磁気ループの導入について
			6 健診体制の充実について	(1) 特定健診の受診率の向上について (2) 人間ドックの受診について
10	13	長澤勝幸	1 総合型地域スポーツクラブに対する基本的考え方について	(1) 総合型地域スポーツクラブに対する支援策について ア 平成 30 年度に、具体的に取り組まれている支援策は何か。また、その効果をどう評価しているのか。 イ クラブに対する考え方の変遷と、その理由は何か。 ウ スタッフ不足、クラブマネージャーの継続雇用に対する財源不足及び運営安定化への対応策は。 (2) 持続可能な環境づくりについて ア 各団体との連携が重要とされているが、役割分担・体制づくりはどのように進んでいるのか。 イ 若い人材確保についてどのように認識しているのか。 ウ 公共施設の指定管理者制度を活用することが有効と考えるがどうか。 エ 「体組成測定」を施策として、積極的に取り組むことも重要と考えるがどうか。
			2 住宅地環境整備としての空き地・空き家及び老朽家屋等の対策について	(1) 所有者不明土地の現状と課題について ア 本市には所有者不明の土地はどの程度あるのか。 イ 「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」の成立を踏まえ、現時点で市としてはどのような対応を考えているのか。 (2) 空き家対策の進捗状況及び空き地管理の対応について ア 空き家の所有者等の突合状況と不明者への対応。

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				イ 特定空き家解体への手続きの進捗状況と進まない課題。 ウ 空き家のシルバー人材センターの活用・管理状況と推進するための課題。 エ 空き家バンク登録件数と実効ある事業展開の課題。 オ 管理されていない空き地の管理。 (3) 老朽家屋への今後の対応策の検討について ア 老朽家屋への対応はどのように検討されているのか。 イ 県との連携を図り、適正管理を進めるとしているが、課題は何か。 (4) 住宅地の未整備水路への対応について ア 未整備水路の現状をどのように把握・認識しているのか。 イ 未整備水路の今後の管理及び整備についてどのように考えているのか。
1 1	1 1	菊地とも子	1 観光振興について	(1) さくらまつりについて (2) 三ノ倉高原花畑について
1 2	3	小島雄一	1 塩川町の防災関連問題について	異常気象による被害が世界で続いている。 アメリカ大陸のマイナス 50 度を下回る極低温やオーストラリアのプラス 50 度の超高温など、今まで起きたことのない現象が起きる時代になっている。 昨年本市での異常渇水もその一端であることを思えば、今までになかった事象が起きることを前提に災害に備えなければならない。 特に塩川町において水害対策は重要である。 そこで以下の質問をいたします。 (1) 阿賀川・日橋川洪水ハザードマップの想定概要を伺う。 (2) 堤防など河川改修の計画を伺う。 (3) 境見川の改修の計画を伺う。 (4) 浸水想定地域内の避難困難者の数と対策を伺う。 (5) 自主防災組織の現状を伺う。
			2 塩川駅東西自由通路について	(1) ワークショップの結果と今後の予定を伺う。 (2) 都市再生整備計画をどう考えるのか伺う。 (3) 地元住民による街づくり会議の設置の考えがあるか伺う。
			3 本市の農業者の動向について	(1) 農業者数、戸数、認定農業者数、離農者数、新規就農者数を伺う。 (2) 経営面積の動向を伺う。

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>(3) 農業者の所得の動向を伺う。</p> <p>(4) 新規就農者対策の現状を伺う。</p>
13	5	江花圭司	1 新年度予算の新規事業について	<p>(1) 喜多方訪日外国人観光誘客推進事業（予算 3,600 千円）について</p> <p>今までの滞在プログラムの内容を検証する中で、台湾、中国上海、オーストラリアの富裕層に対する継続的な受け入れ体制の構築、地域ブランドの確立を自発的に進める意識づくりを行うことを目的とした予算だということから、北塩原村、磐梯町、猪苗代町は、それらの富裕層をスキー場・ホテルへの誘客・滞在を推進しており、半月ほどの滞在をされる方々もおられます。</p> <p>その方々のアクティビティとして、シャトルバスを運行させ、広域的な周遊サービスを提供しており、中でも夜の会津若松を訪れるはしご酒プランは、受け入れる側の会津若松市としてもマップチラシを作成し配布しております。</p> <p>そこで喜多方市へもシャトルバスを運行させたいというスキー場側の声もあるが、連携は可能か、受け入れられる環境を整えることは可能か、予算内訳も含め伺います。</p> <p>(2) 会津・置賜広域圏外国人観光誘客誘致促進事業（予算 5,000 千円）について</p> <p>レンタカーやサイクルツーリズムを推進し、国道 121 号沿線における広域周遊を促す予算となっております。</p> <p>大川喜多方サイクリングロードは整備開始から 30 年以上経ったが、未だに熱塩温泉と芦ノ牧温泉間の全線約 48km がつながっていない現状です。しかし、平成 28 年 12 月に自転車活用法が施行されたことから、ブルーラインや矢羽根型路面表示等によるサイン計画により未整備区間を、一人でも全線を走ることができるよう建設事務所においても検討がなされています。</p> <p>そうなることで、本サイクリングロードは、サイクルツーリズムにおける高速道路と捉えられ、道の駅がサービスエリア、交差点がインターチェンジになり、広域周遊の基幹道路となる資源とも考えられます。</p> <p>この予算には、サイクリングロードの活用に関しては検討していないのか、その内訳も含め伺います。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>(3) アメリカ合衆国との喜多方市ホストタウン交流事業（予算 9,900 千円）について 人的、経済的、文化的な相互交流を図り、地域の活性化、観光振興のための交流事業を行うことを目的としております。 若い方々から高齢者までスポーツ交流においては、その国のオシャレなスポーツブランドを身に着けることも重要なことであるとも考えております。 アメリカには、AIRWALK、BURTON、Champion、Coleman、DC、Eddie Bauer、Harley-Davidson、NIKE、OAKLEY、OUTDOOR PRODUCTS、PONY、RalphLauren、THE NORTH FACE、UNDER ARMOUR、VOLCOM のように、数多くの有名スポーツブランドがあることから、スポーツ交流ウェア、グッズの連携協定を締結するなど、市内への生産活動拠点を誘致することを常に考えていってほしいが、見解と予算内訳を伺います。</p> <p>(4) 空き家対策（予算 5,376 千円）について 新規事業の空き家対策事業において、現地調査を行い、データベースの充実を図り、ポケットパーク等に活用できる空き家再生推進事業の支援を行うことについて、景観協定エリア、エリア外での支援内容と街区公園、都市公園など法定上の公園との整合性について伺います。</p> <p>(5) 市民活動への支援について 新規事業の住民自治、協働のまちづくり住民自治推進事業補助金（予算 20,000 千円）について、自治基本条例に基づく協働のまちづくりと市民が主体となった住民自治の取り組みをさらに推進するため、行政区に対する地域課題解決のための補助金を交付することについて、行政区内の地域運営組織などに補助金を交付する際、持続可能な地域運営ができるよう、団体の組織づくりや人材育成についての仕組みを指導して変えていかなくてはならないと考えるが、見解と予算内訳を伺います。</p>
			2 旧喜多方県立病院跡地、旧喜多方商業高等学校跡地整備について	(1) 今後の整備仕様を検討してもらいたい点として、雪国、寒冷地への対応で、両施設ともに軒先雁木の設置について、施設の屋外の動線における雨や雪対策、さらにイベント期間での軒下展示や出店、発災時に軒下待機ができることなどの検討があったのか。

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>また、市役所庁舎においては、雨天、梅雨時期、降雪時に 1 階フロアの窓口へお客様がたくさん行き交うことで、OAフロアのタイルカーペットに水が含むことなど、それらについて、新施設の建設にはしっかりと検討をして反映させていただきたいが、見解を伺います。</p> <p>(2) 屋内多目的広場、屋内スポーツ広場の設置について、屋内子ども遊び場に関しては、旧県立病院跡地の基本構想に盛り込まれていた。しかし、屋内多目的広場、屋内スポーツ広場に関しては、両跡地においても記載がなかったが、必要性に関して見解を伺いたい。</p>
14	7	上野利一郎	1 地域公共交通網形成計画について	<p>喜多方市地域公共交通網形成計画の実現に向けて、平成 31 年度から 3 カ年にわたる地域公共交通再編事業が示された。</p> <p>利用者の利便性の向上のためにどのような課題が解決されようとしているのか、また、どんな課題が残っているのか、以下の 2 点について伺います。</p> <p>(1) 広域幹線について伺います。</p> <p>ア JR 磐越西線を利用して堂島駅乗降により県立医科大学会津医療センターへ通院するための利便性は向上するのか伺います。</p> <p>イ 喜多方一坂下線における坂下厚生総合病院までの延長運行の可能性について伺います。</p> <p>(2) 予約型乗合交通について伺います。</p> <p>ア これから増加が予想される運転免許証返納者への対応として、各路線の起点や通過地区など運行エリア全体についての検討の可能性について伺います。</p> <p>イ 市内新規路線である、(仮称) まちなか循環線(2ルート)や喜多方一坂下線の喜多方市街地北部への乗り入れの実証運行期間とその検証方法について伺います。</p> <p>ウ 予約方法の見直しのスケジュールについて伺います。</p> <p>エ 高齢者の利便性を高めるため、乗り継ぎ拠点である有隣病院、総合福祉センター、市役所、寺町角の観光案内所、喜多方駅等において当日便の予約変更などの窓口サービスが実施できる可能性について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
			2 フッ化物洗口の実施状況について	<p>平成 31 年 1 月より保育施設や小学校で幼児期と学齢期でのフッ化物洗口が実施されている。フッ化物洗口による、う歯（虫歯）の抑制効果について、各保護者の理解が得られたのかどうか、また、円滑に実施できているのか、以下の 3 点について伺います。</p> <p>(1) 保育施設や小学校での実施対象者の在籍者に対する割合について伺います。</p> <p>(2) フッ化物洗口の中止、または中止を希望している幼児、児童の人数について伺います。</p> <p>(3) フッ化物洗口の中止、または中止を希望する原因と、その解決のための改善策について伺います。</p>
15	2	矢吹哲哉	1 米軍機オスプレイの喜多方市上空飛行について	<p>(1) 平成 31 年 1 月 14 日の夕方に、本市上空を飛行したとの市民からの情報について、市では情報収集をどのように行ったのか。また、その情報収集の内容について伺う。</p> <p>(2) 市の対応について</p> <p>ア 「本市上空を低空飛行」したことについての市長の見解を伺う。</p> <p>イ 米軍、政府に対して抗議、飛行中止を求めるべきと考えるが、市長の対応について伺う。</p>
			2 市税、国保税の徴収、差し押さえの改善について	<p>(1) それぞれの滞納、差し押さえの状況について伺う。</p> <p>(2) 滞納処分、差し押さえまでの流れを伺う。</p> <p>(3) 滞納処分の執行停止、また、申請による「換価の猶予」の基準と、その判断はどのように行っているのか伺う。</p> <p>(4) 恒常的低所得者への減免制度創設についての見解を伺う。</p>
			3 保育所等の待機児童解消について	<p>(1) 平成 31 年 4 月 1 日の待機児童、潜在的待機児童の見込みについて伺う。</p> <p>(2) 平成 31 年 10 月 1 日の待機児童、潜在的待機児童の見込みについて伺う。</p> <p>(3) 平成 31 年度以降の施設の整備計画について伺う。</p> <p>(4) 全ての市立認定こども園での 0～2 歳児保育実施を求めるが、市長の見解を伺う。</p>
			4 食とエネルギーの地産地消の推進、住民自治の地域・まちづくりについて	<p>(1) 地方創生総合戦略（平成 27 年度から平成 31 年度）について伺う。</p> <p>ア 人口動態の推移について伺う。</p> <p>イ 総合戦略の主な目標に対する進捗状況について伺う。</p> <p>ウ 検証の結果、評価について伺う。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>エ 平成31年度以降の取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 食とエネルギーの地産地消による循環型の地域経済振興、住民参加、住民自治のまちづくりについて伺う。</p> <p>ア 食の地産地消の推進をどのように進めるのか伺う。</p> <p>イ 再生可能エネルギーの推進をどのように進めるのか伺う。</p> <p>ウ 集落単位、小学校区単位での目標、ビジョンづくりと地域での協働組織づくりについて伺う。</p> <p>エ 市長はTPP、日米自由貿易協定による農産物総自由化路線を推進する安倍農政に反対し、農村の維持と農を軸にした循環型の地域経済振興と住民自治の喜多方づくりを進めるべきと考えるが見解を伺う。</p>
16	4	関本美樹子	<p>1 子育てや教育への支援体制について</p> <p>2 安全・安心な健康長寿のまちを目指してについて</p> <p>3 住民自治推進事業の展開について</p>	<p>(1) 10月からの幼児教育、保育の無償化に伴う措置について伺います。</p> <p>(2) 少子化の時代において、不妊治療に対してどのような助成を考えているか伺います。</p> <p>(1) 胃がん検診体制の拡充について伺います。</p> <p>(2) 高齢者の熱中症対策はどのようにするのか伺います。</p> <p>(3) 骨髄移植のドナーに対し、経費を中心とした負担軽減への取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 住民主体の自治とは何か目的を伺います。</p> <p>(2) 目的に沿った組織づくりについて伺います。</p> <p>(3) 運営に必要な支援員の人づくりについて伺います。</p>
17	22	齋藤勘一郎	<p>1 主要地方道喜多方西会津線（慶徳峠頂上部から環境センター入口まで）の改良整備について</p> <p>2 有害獣対策について</p>	<p>(1) 来年度の事業見通しについて 今年度において道路概略設計と緊急性の高い区間の地表、地質調査等が実施されたことであるが、その内容と結果を踏まえて来年度の事業について伺う。</p> <p>(1) イノシシ被害防止対策について 市内各地の農地及び農作物を守るため、広域的な電気柵の設置について、これまでどのように検討されてきたのか、その内容と今後の諸対策について伺う。</p> <p>(2) サル被害防止対策について 本市におけるサルの集団は未標識群を含め、4群が生息しているとのことであるが、今後の諸対策について伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
18	21	大川原謙一	1 市内小・中学校の通学状況について	(1) 各小学校 17 校それぞれの通学状況と支援について伺う。 (2) 各中学校 7 校それぞれの通学状況と支援について伺う。
			2 本市の上水道の現状について	(1) 現在、本市における上水道の未普及地区はどのくらいあるのか伺う。 (2) 未普及地区に対して今後どのように対応していくのか伺う。 (3) 集落ごとにある給水施設はどのくらいあるのか。併せて、そのうち補助事業を活用した施設は何施設あるのか伺う。
			3 ふるさと納税について	(1) 平成 27 年度から平成 29 年度までのそれぞれの額と平成 30 年度の直近の額はいくらか。 (2) 企業版ふるさと納税について平成 28 年度から平成 30 年度までのそれぞれの額と企業数、対象となった事業とその内容を伺う。
19	15	渡部勇一	1 市長の政治姿勢について	(1) 各総合支所における人口減少及び活性化対策の施策の考え方を問う。 (2) 人材育成のための教育機関の誘致について ア 医療及び食の教育機関等の誘致についての考え方はどうか。 イ 県立テクノアカデミー会津の拡充の考え方はどうか。
20	14	坂内鉄次	1 市機構改革と執行体制について	(1) 今回の組織機構の見直しについて (2) 事務事業の推進体制について
			2 教育行政について	(1) 学校給食事業について ア 文部科学大臣表彰を受けてどう広めていくのか。 イ 公会計への移行について (2) 県立高校再編に係る市の対応について
			3 地域振興について	(1) 太用寺橋及び市道上岩崎・吉志田線の整備の見直しについて (2) 上ノ山線道路整備事業の進捗状況と今後について (3) 三井金属鉱業株式会社のパーライト事業の新規採掘に係る安全対策について (4) 入田付地区上水道事業（建設）の進捗状況と今後について
21	19	渡部孝雄	1 市長の市政運営方針について	持続可能な地域社会を「分かち合い」によって実現する趣旨をもって問う。 (1) 国及び喜多方市の状況について 過疎、格差の進行及び合併が目指したフルセット型自治体の存続と住民自治活動の制度的保障に係る合併以降の経過と現状について

通告順	議席番号	質問者	質問事項	質問要旨
				<p>(2) 行政改革・民間委託について</p> <p>ア 行政サービスの民営化、民間委託では「民間ができることは民間に」を、「民間がすべきことは民間へ」とすることについて、また、各公共性の評価により委託及び民営化すべき資産、サービスを明確にすることについて</p> <p>イ 基本計画作成業務の外部委託を内部化することについて</p> <p>(3) 財政について</p> <p>ア 現金支給から現物支給への制度的転換について</p> <p>イ 財政規律の現状を踏まえた再編成について</p> <p>ウ 公平な住民サービスでは、除雪支援事業の範囲拡充にみられるように可能な限り様々な分野で所得や年齢制限を設けずに住民の必要に応じた行政サービスが提供されることについて</p> <p>(4) 持続可能な地域社会の実現について</p> <p>ア 拠点形成による住民の自立的な地域づくりに係る本年度予算における基本方針について</p> <p>イ 伝統文化に根差した地域振興策を住民自身がつくる手助けとなる行政サービスについて</p> <p>ウ 地域振興課と総合支所の連携・協力及び総合支所のきめ細やかで迅速なサービスを担保するものについて</p> <p>エ 既に自立的な取り組みが組織化されている地域とともにワークショップ実施事業や地域要望をきっかけとして誘導・支援する機会を活かす方策について</p> <p>オ 塩川町での具体的事例について</p> <p>塩川駅東西自由通路を中核事業とした都市再生整備計画では、今後の継続した住民のまちづくり活動への誘導・支援について、</p> <p>また、姥堂地区からは、小学校児童の増加策、学校周辺の環境整備の要望書が継続して出されているが、このような機会を活かした、自立した継続的活動となるための行政支援について</p>
			2 喜多方市の学校教育について	(1) 小・中学校の適正配置の検討にあたっての地域づくり、まちづくりとの関係について

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				(2) 協力、共同、分かち合いの視点から喜多方市の教育はどうあるべきか。その手段、それを可能とする環境としての規模と配置を検討することの必要性について
2 2	2 0	五十嵐吉也	1 新年度当初予算について	<p>(1) 基準財政収入が伸び、歳出が伸びれば地方交付税は多くいただけるのか伺います。</p> <p>(2) 新年度の市税は 48 億 2,637 万 1,000 円で、約 0.7% 増の 3,158 万 8,000 円の増を見込んでいる。人件費の伸び率は何%で、金額はいくらですか。</p> <p>人件費に指定管理者に支払う経費とその他の委託料を合わせるといくらか。</p> <p>人件費を下げても経費や委託料が伸びることで財政が厳しくなります。これらもゼロベースから見直したのか伺います。</p> <p>(3) 働く方への支援・雇用の創出事業は 20 を数え、6,734 万円の予算をゼロベースで見直したとある。</p> <p>例えば森林による都市との交流事業ですが、日本は面積の 7 割が山野です。8 万 4,000 円の事業で何が期待できるのか伺います。</p> <p>(4) 平成 31 年度一般会計当初予算は、251 億 5,800 万円です。財政の豊かさを表す財政力指数は何%か。</p> <p>また、平成 30 年度は県内 13 市で最下位の南相馬市に次いで 0.37% と低い数値でした。新年度は財政力指数が改善されたのか伺います。</p> <p>(5) 歳入予算に占める市税の比率は何%か。</p> <p>本市は、予算に占める市税の比率は 19.2% で、県内 13 市で人口の少ない本宮市を除けば最下位ですが、本年度は類似市まで改善できそうですか。</p> <p>予算に占める地方交付税の比率は何%か伺います。</p> <p>(6) 本市は、一人当たりの市民所得は県内 13 市で最下位、可処分所得が少ないために消費が伸びません。改善すべきは市民所得を上げることと思うが、事業効果等で数字に反映できますか伺います。</p> <p>(7) 新年度予算に占める人件費比率は何%か。</p> <p>また、市税に占める人件費比率は何%か。</p> <p>予算に占める人件費は、県内 13 市で一番高く、市職員一人当たりの平均給与額は、福島市、郡山市の両市に次いで 3 番目に高い。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>人件費を類似市並みに抑えるべきと思う が伺います。</p> <p>(8) 予算に占める物件費と普通建設事業費に ついて伺います。</p> <p>民間投資の少ない本市において、地域経済 を牽引する物件費や普通建設事業費を他市 並みの、2つ合わせて平均 20% 台まで予算を 確保し、地域経済の活性化策に回すべきと思 うが伺います。</p> <p>(9) 新年度も歳入に基金を繰り入れて予算を 編成しています。</p> <p>基金は崩さなければ翌年の 3 月 31 日まで に予算に計上し、戻さなければならないが、 戻す財源について伺います。</p> <p>ア 本市は、毎年 3 月末日に銀行から決まっ て多額の一時借入をしているが、借入金 の用途は何か。</p> <p>年度末のやりくりと聞くが、そのため には財政調整基金がある。3 月には交付金も 入り、資金繰りは十分と考えますが伺いま す。</p> <p>イ 監査資料によると、毎年 3 月末日に借り た一時借入金と同額を新年度が始まった 直後に返済している。償還の原資は何か。 新年度予算から支出するには新年度 予算に計上しなければならない。一時借入 金は、年度途中で歳計現金に不足を生じた 時の資金繰りであり、借入金の償還は一般 会計予算で戻すと規定しているが、これと の齟齬はありませんか。</p> <p>借入金は出納閉鎖まで償還すればよい わけであるから、利子を払ってまで借りる 理由を伺います。</p> <p>ウ 基金は目的があって積み立てている。運 用する場合、原則は目的の事業等と承知し ている。財源調整の目的で繰り入れる運用 はよくないとあるが、よくない方法で基金 を繰り入れていないか伺います。</p> <p>赤字財政再建団体に陥った夕張市では 貸付金が多く入ったと偽り、銀行からの借 入金で予算の帳尻を合わせていたと聞い ていますが、本市は隠れ借金の心配はあり ませんか伺います。</p> <p>(10) 商工業振興対策経費の企業誘致推進事業 業務委託料について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨
				<p>平成 30 年度の予算は 367 万 2,000 円でしたが、新年度は若干増額しております。今年度の事業内容を踏まえての計上か伺います。</p> <p>新年度の事業内容は、議案説明の資料に載っているが、費用対効果は期待できますか。</p> <p>また、昨年 7 月から 12 月までにトップセールスで行った企業訪問数と日程及び成果について伺います。</p>
			2 特別会計の国民健康保険事業について	<p>(1) 平成 30 年度の本市の一人当たりの平均保険料はいくらで、上がったのか、下がったのか伺います。</p> <p>(2) 国民健康保険事業が県に移管されておりますが、住民の事務手続きについて、その仕組みは住民に周知徹底されたと思うか伺います。</p> <p>(3) 国民健康保険事業が県に移管されたことで、平成 31 年度の本市加入者の国保税負担は上がるのか、下がるのか伺います。</p>